

事業目的

薬物等の依存症を抱える方や発達障害の方に身体的、精神的、社会的な援助を提供し、回復の手助けをします。

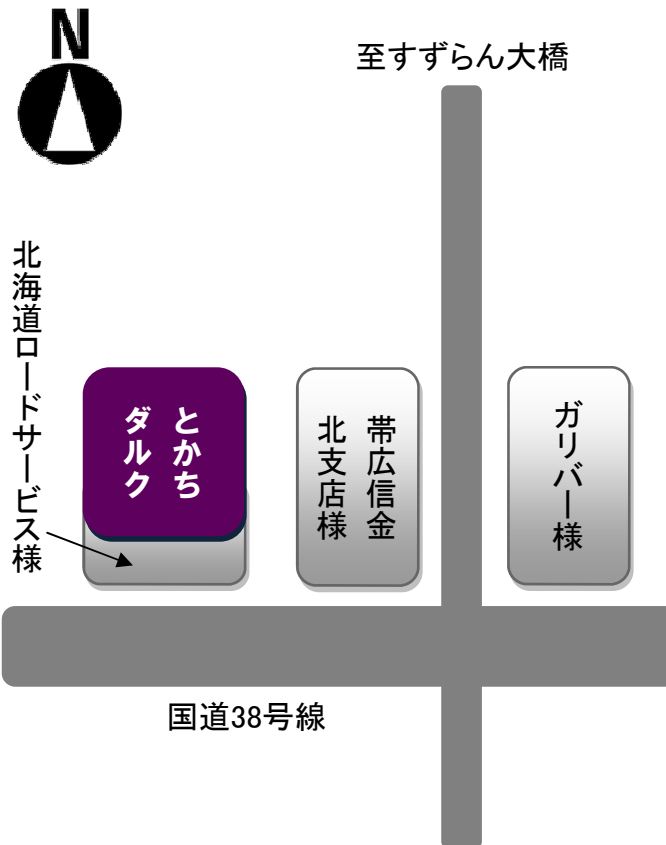
回復するための場所、時間、モデルを提供し、ナルコティクス・アノニマス（NA）が提案する12のステップに基づいたプログラムに取り組み、新しい生き方を身に付けることによって自助グループに繋げ、自立することを目的とします。

事業内容

- ①とかちダルクケアセンター（自立訓練）
- ②とかちリカバリーハウス（共同生活援助）
- ③Cafeるくら（就労継続支援B型）
- ④相談事業
- ⑤予防・啓発事業（講演・説明会）
- ⑥養成事業

法人沿革

- 平成24年11月：法人設立
平成24年12月：自立訓練事業開始
平成24年12月：共同生活援助事業開始
平成26年12月：現住所に事務所移転
平成27年12月：Cafeるくらオープン
平成28年4月：就労継続支援B型事業開始



【特定非営利活動法人とかちダルク】

〒080-0042

北海道帯広市西12条北1丁目13番地

TEL：0155-67-0911

FAX：0155-67-0912

HomePage：http://tokachi-darc.org

E-Mail：recovery@tokachi-darc.org

Drug Addiction Rehabilitation Center

DARC

とかちダルク

～とかちダルクケアセンター～



ご利用案内

特定非営利活動法人

とかちダルク

とかちダルクケアセンターの主な一週間のプログラム

【利用対象者】 地域生活を営むために必要な生活能力の維持、もしくは向上するために一定期間の訓練が必要な知的・精神障害を持つ方。通所による訓練を原則とし、個別支援計画によって日常生活での相談支援を実施し、24ヶ月（最大36ヶ月）内での利用期間を設定しています。

	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
月							
火							
水							
木							
金							
土							

【準備】

各々が、通所後にミーティングの準備や作業を行う時間です。

【ハウスミーティング】

一週間の過ごし方を利用者と共に話し合います。ミーティング後は施設の掃除をします。

【ダルクミーティング】

「言っぱなし」「聞きっぱなし」のスタイルで、お互いの経験や希望を分かち合い、回復に向けて、新しい生き方を模索します。

【昼食】

提供された山盛りの昼食を揃って食べます。時にはプログラムの一環で手作りに挑戦します。

【NAミーティング】（毎日19:00～20:00）
依存症者が中心となって開催している自助グループのミーティングです。当事者同士の話し合いが行われ、利用者の大半が積極的に利用しています。

【午後のプログラム】

午後はダルクミーティングの他、運動プログラム、スタッフによるワーク、野外活動等、様々なプログラムが季節によって組まれています。



とかちダルクケアセンター利用料

- ◇ 障害福祉サービス（自立訓練（生活訓練））ご利用の方は受給者証の記載通りとなります。
※負担上限や軽減制度等はお住まいの市町村へおたずねください。
- ◇ 昼食ご希望の方には、1食200円で提供があります。

【とかちリカバリーハウス】 ～共同生活援助（グループホーム）事業～

薬物等の依存症を抱える方や発達障害の方が、病院や刑務所から社会生活に戻った場合、社会復帰にも多くの困難を伴うことがあります。とかちダルクではこのようなケースに対応するため、自立訓練や就労継続支援（B型）の利用者を対象として、グループホーム事業にも取り組んでいます（グループホーム事業のみの利用は別途検討いたします）。

す）。自らの回復について仲間と認め合い、自助グループに通う生活に慣れ、社会復帰を仲間と共に目指します。

□とかちリカバリーハウス利用料
権利金：35,000円（入居時のみ）※
家賃：29,000円/月 / 光熱水費：10,000円/月
暖房費：9,000円/月（冬期間11月～4月）

※退所後に清掃・修繕等を行うためのものです。退去時の返還は致しません。